

41度目の「解散記念日」に後期メンバー勢ぞろい

「ザ・タイガース」のメンバーで会場を盛り上げる沢田研二(中央)、左は岸部一徳、右は森本太郎、同2人目は瞳みのる＝日本武道館(撮影・三好信也)



フルメンバーでタイガース再結成を!!

ジュリー熱望

脳梗塞と闘うシローも来た!

グループ・サウンズブームを支えたザ・タイガースの後期メンバーが、1971年1月24日の解散から41年となった24日、ラストコンサートを行った東京・日本武道館に勢ぞろいした。

歌手・沢田研二(69)の全国ツアー最終公演で、昨年9月からの4カ月間、全国を回った森本太郎(タロー)64、岸部一徳(サリ)65、瞳みのる(ビー)65に加え、69年からバンドに加わった岸部シロー(62)がゲスト出演した。

98年に患った脳梗塞の後遺症で歩行困難のシローが兄・一徳に両脇を抱えられ、ステージに登場すると、ファン1万3000人はすすり泣き。シローは「こんなステージに立てるなんて、夢のよう。すべてジュリーのおかげや」と涙し、ピーシーズのカバー「若葉のころ」をつぶやくように披露した。

あと1人、いて欲しかった。「シーサイド・パウンド」など全26曲を熱唱した沢田は「命ある限り、全員そろってタイガース。近い将来、もう一度全員でやります」と宣言。「沢田のやり方が気



岸部シロー(中央)のトークに爆笑する岸部一徳(左)、沢田研二

に入らない」と今回は不参加だった、初期メンバーの加橋かつみ(トッポ)63も合流した「フルメンバー」での再結成を約束した。